



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

Mycoplasma genitalium  
の尿道炎における病原的意義の検討

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 河田, 幸道 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12099/296">http://hdl.handle.net/20.500.12099/296</a>

## はしがき

男子尿道炎は淋菌による淋菌性尿道炎とそれ以外の非淋菌性尿道炎とに分けられる。非淋菌性尿道炎の起炎菌のうちその病原的意義が確立しているものは *Chlamydia trachomatis* にすぎず、非クラミジア性非淋菌性尿道炎の病因の解析が望まれてきた。

当教室では、*C. trachomatis* をはじめとする尿道炎の起炎菌検出のための遺伝子診断法の開発と臨床応用とを行ってきた。さらに、今回、科学研究費補助金をいただき、不明な点の多い非クラミジア性非淋菌性尿道炎におけるマイコプラズマ属およびウレアプラズマ属の細菌の検出を試み、それらと非クラミジア性非淋菌性尿道炎との関連を検討した。

ここに今回の検討で得られた知見を報告し、諸賢のご意見とご批判とを仰ぎたい。